（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	コペルプラス苫小牧教室

公表日　2026年11月1日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	0	ご利用者様の人数に応じてし使用する部屋の調整をしている。	教室やプレイルームの狭さはあるため、複数人がご利用される際は怪我などがないように複数体制での対応を継続していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	0	毎月人数調整をした上で、前日に人員配置を確認している。必要に応じて複数体制での療育を行っている。	職員の休みを適宜把握し、今後も適切な対応を継続していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	0	教室内はバリアフリーになっている。掲示物などを視覚的にわかりやすいものにし、お子様への配慮を行っている。	２階になっているが、エレベータがなく、階段が急。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	掃除の時間を確保し、毎日行っている。定期的にエアコンなどの清掃を行っている。	店舗の老朽化があるため、施設設備の定期的な点検を継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	お子様がご利用される部屋を確保している。	ご利用人数を調整しながら、使用場所の確保を継続していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	0	各自で目標設定・振り返りを行っている。	各自で行っていても全体共有する場がなかった。児発管から働きかけて業務改善を進めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	0	評価表を職員で交流し、療育の中で留意している。	評価結果を交流しながら、今後も業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	定期的にカンファレンスを実施している。必要に応じて、職員発信でカンファレンスを設けている。	定期的に個人面談等を実施しながら、働きやすい環境づくりを行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	0		（第三者評価実施なし）
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	0	会社から情報提供されている。	児発管から職員に対して研修等の情報発信を行っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	0	支援プログラムを作成し、職員で共有している。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0	定期的にアセスメントを実施し、計画作成をしている。	研修を利用して分析に必要な専門知識を身に付けていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	0	全体でカンファレンスや会議を行いながら支援計画の作成を行っている。	引き続き検討の機会を設けながら充実を図っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	会議を実施して計画を共有している。	共有したのちの修正点なども記録化しながら充実を図る。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	0	会社独自の発達観察シートを使用しながらデータを蓄積している。	今後も継続していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	0	職員間で確認しながら漏れのないように作成している。	今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	会社独自のプログラムで実施している。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	0	お子様の状況に合わせて弾力的に運用している。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	0	教室全体で確認する時間を設けている。	今後もお子様の実態や保護者様の要望を重視しながら適切に実施していく。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	0	朝礼の時間を設けて確認を行っている。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3	2	0	カンファレンスを実施し、情報を共有している。	その日の実施にはならず、翌日に時間を設けている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	ソフトの他に、教室独自で用意したシートに日々の様子を記入している。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	0	個別支援計画更新時にモニタリングを実施している。	必要に応じて適宜実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	0	児発管・管理者が中心になって進めている。	地域社会との関連性が薄いので情報公開をしながら進めていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	0	お子様が話をしやすい環境づくりを心掛けながら支援を行っている。	指導員との信頼関係の構築を今後も進めていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	0	管理者や児発管が中心となって参画している。必要に応じて、専門職員や関わりの多い指導員が同席している。	事前・事後の情報交流を充実させていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	0	病院や保育所等に情報提供を行っている。	連携が必要な関係機関を整理し、必要に応じて連携できる体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	0	お子様の支援会議などを利用して連携を図りながら、支援の充実に努めている。	送迎等がないため、それに関しての情報交流は実施していない。通信のお渡しやパンフレットの配布を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	0	就学前からご利用されているご家庭が多いので、継続して情報交流ができていた。	今後も継続していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	0	卒業まで在籍されたご家庭がないので、実施してきていなかった。	地域の関係機関をピックアップして、関係性を構築しておく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	0	必要に応じて情報交流をしている。月１回は訪問してお話する時間を作っている。	情報交流を実施しているが、児発管のみの対応となっていた。職員間での情報共有に努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	0	現在は活動する機会を設けていなかった。	通信やSNSを通じて地域への情報公開を進めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5	0	児発管のみの参加となっていた。	児発管・管理者が積極的に参加していく。参加しての内容を職員に共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0	母子通所なので療育時間中に保護者様にお声掛けする時間を作っている。	今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	0	チラシの配布や掲示を行っている。	ペアレントトレーニングができる体制を整えていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	0	契約の際に保護者説明を行っている。必要に応じて、説明の場を設けている。	全職員が説明できるように共通理解を図っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	0	母子通所の利点を生かして、保護者様と情報交流する機会を多く設け、必要に応じて意向を確認している。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	0	契約時にお伝えして同意を得ている。	今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0	親子通所の利点を生かして、現状をお聞きし、必要に応じて面談を実施している。	職員間で情報共有しながら、誰にでも相談しやすい環境を整えていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	0	異年齢のお子様が参加する交流の機会を設け、きょうだい児の交流を図っている。	ペアレントトレーニングを実施する中で、保護者交流の機会を設けていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0	レッスンごとのフィードバックや、日ごろのお声掛けの中で保護者様が話しやすい環境づくりを心がけている。	苦情があった際にはその日のうちに職員間で交流しているので、それを継続していく。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0	月１回の通信、SNSの更新、行事予定の掲示等を行い情報発信をしている。	今後も継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	0	会社の規定に基づいて対応している。	今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	お子様の実態に合わせ、必要なツールを用いるなどの工夫を行っている。	今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	0	イベント時には関係機関の方々の招待を行っている。	地域との関係性が希薄なので、官公庁や地方自治体と情報共有しながら、できることを模索していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	0	計画的に訓練を実施している。	訓練を実施していくが、保護者への周知がされていない。通信やSNSを通じて情報公開をしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	0	BCP計画を策定し、必要に応じて更新している。計画通りに訓練を実施している。	BCP計画について職員間交流が実施できていない。更新の際に全体交流する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	0	契約時に保護者様に情報提供していただき、記録化している。	職員への情報共有が実施されていないことがあった。今後は実施していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	0	契約時に保護者様と情報共有している。	食事提供がないため、医師の指示書まで確認できていなかった。今後は確認していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	0	会社の規定に基づいて安全計画を作成し、訓練を実施している。	今後も継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	0	災害時や災害が予測されるときには、職員間で非常時の対応について打ち合わせを実施している。	通信やSNSを通じて各家庭に情報発信していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	0	事例が発生したときには職員全体で交流している。	事業所内で共有しているが、方策の全体交流ができていなかった。記録化して保存していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	0	会社の規定に基づいて必要な研修に参加している。	研修は実施しているが、実際の現場ではどうかを管理者・児発管が確認していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	0	会社の方針に基づき、契約時に保護者説明を実施し、理解を得ている。	今後も継続していく。